

# 教育センターニュース

四日市市教育委員会 教育支援課  
〒510-0085 四日市市諏訪町 2-2 (四日市市総合会館6階)  
TEL (354)-8283 (代) FAX (359)-0280



教育支援課  
マスコットキャラクター  
しえん君



ホームページ <http://www.yokkaichi.ed.jp/e-center/>

## Aさん、どうする？

人権・同和教育課 森本 裕也

私は、以前の勤務校で初めて特別支援学級を担当させていただきました。そのときに四年生のAさんと出会いました。

車いすを利用するAさんは、交流学級で学習することはありましたが、給食当番をしたことがありませんでした。それは、足の不自由なAさんが配膳することは大変だから免除しようという担任や友だちの配慮があったからなのでしょう。友だちが配膳してくれるのを自分の席で待つことが、Aさんにとっての給食準備時間の「あたり前」の過ごし方だったのです。

そんなAさんに対して、四年生の交流学級の担任は「当番するのあたり前でしょ。」と告げ、その日からAさんも皆と同じように給食当番をすることになりました。

した。Aさんは、時間はかかりましたが誰よりも熱心に当番活動に取り組みました。後で聞いた話では、帰宅したAさんが「給食工プロンがぼくの憧れだった。」と母親に語ったということです。

体育の時間は、別室での自立活動にあてていましたが、Aさんの希望もあり、内容によっては交流学級で学習するようにしました。

ある日、跳び箱の授業がありました。私は、内心「無理ではないか」と思いながらも、「Aさん、どうする？」と声をかけました。友だちが力強く跳ぶ様子を眺めていたAさんは、「先生、跳び箱の一段目を置いて」と言って、自ら車いすを降りました。そして、腕の力だけで見事乗り越えたのです。Aさんは、その方法で一段ずつ高さをクリアしていき、五段

目を成功させたときには、周りを囲んだ友だちから大きな拍手と歓声を受けました。

障害があることで、周りの人が配慮することはたくさんあると思います。しかし、できないだろうと決めつけることで、私たちは無意識のうちに障害のある人のやる気や可能性を奪ってはいないでしょうか。Aさんとの出会いは、そのことを私に教えてくれました。



# YESnet (イエスネット)ってなんだろう？

四日市早期支援ネットワークのことです。教育委員会・保健所・医療機関（ささがわ通り心・身クリニック）が連携して、子どもたちの心の病気の予防・早期支援につとめています。

## 出前授業

YESnet では、中学生を対象に、ストレスケアの授業を行っています。プラスにもマイナスにもなるストレスについて正しく理解し、ストレスと上手く付き合っていけるように、体験活動を取り入れて学んでいただきます。



「ささがわ通り心・身クリニック」精神保健福祉士の宮越裕治です。少しでも生徒の安心、心の健康につながればと思って授業をしています。大人も子どもも、困ったら誰かに相談することが大事だということも伝えたいです。

## 出前相談

学校に出向き、相談事例について一緒に考えます。学校ができること、関係機関ができることを整理することで、支援の方向性が見えてきます。

「四日市市保健所」保健師の井倉一政です。学校・先生方だけではなかなか支援の方向を見出しにくい、複雑な問題が多くなってきていると思います。心の健康について一緒に話し合い、多方面からの支援を考えることが大切だと思います。



## 出前研修

先生方や保護者対象に「思春期の子どもの特徴と注意が必要なサイン」と題する講義を行います。



「総合心療センターひなが」看護師の服部春樹です。聴講されている先生方の姿から、熱心さと同時に生徒たちと関わる中でのご苦労も多いのだろうと感じます。人の心を扱う上で、絶対的な方法論はありません。しかし、研修の内容が、日々生徒たちと関わる上での判断材料、安心材料になることを願います。

## 精神科医師による思春期相談

保健所では、精神科医師による思春期相談を年に3回行っています。今回は、3月29日（金）です。

「四日市市保健所」保健師の勝田茂子です。  
お子さんが精神科にかかった方がよいのか…また、精神科にかかるのはちょっと…と思われる保護者の方が多くいらっしゃいます。  
思春期相談では、安心して専門的な助言がうけられます。お気軽にご相談ください。



「四日市市保健所」保健師の宮田貴史です。昨年度、各学校に配付しました『心の病気がわかる絵本①～⑤の活用について』の調査にご協力いただき、ありがとうございました。



## 絵本の活用方法

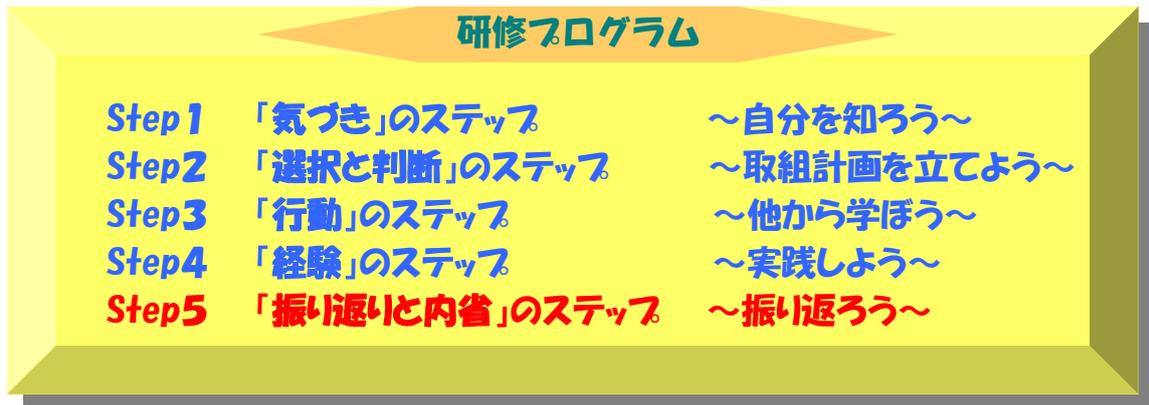
たくさんの学校で、この絵本を活用していただいています。活用方法について一部紹介します。

- 保健室で…**
- ❁ 来室児童生徒が自由に読んでいる。
  - ❁ 興味を持った子に貸し出しを行った。
  - ❁ 一緒に話し合うことで自己理解へとつなげた。
  - ❁ 気になる子の保護者・担任へ本を勧め、絵本を介して児童生徒理解へと進めた。
  - ❁ 「心の健康」について生徒集会や講演会で全校生徒に紹介した。
  - ❁ ほけんだよりで紹介し、「心の健康」をテーマにした記事を載せた。
- 図書室で…**
- ❁ 集会で読み聞かせをした。
- 職員室で…**
- ❁ 職員が心の病気を理解するのに活用した。



# 「振り返りと内省」のステップへ

次年度へ向けてまとめや振り返りをし、この1年間の自分を振り返ってみましょう。  
「個人年間取組計画と評価」を使って、自己評価し、次年度へつなげましょう！



## 1. 「振り返りと内省」に取り組む時間を確保しましょう！



本年度の研修を総括する時期です。校園内研修の時間の中で、ぜひ「振り返りと内省」の時間を設けてください。

「みんなで取組シートに書き込む」あるいは「1年間の振り返りをグループでシェアする」「互いに評価しあう」等、まずは今まで培った同僚性を発揮できる、学び合う時間の確保も大切です。

## 2. 本年度の振り返りを、次年度につなげましょう！

今年度の自分の「学び」と実践を客観的に分析することは、次年度の計画につながっていきます。また、みんなで分析をすることによって、次年度の学校運営の骨子が見えてきます。

今年度のうちに、しっかりと振り返ることで、次年度の取組みへの方向性を見定め、新年度のスムーズなスタートに備えましょう。

